

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 1 6 回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会		
事務局 (担当課)	都市計画課	電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 7 (直通)	
	生涯学習課	電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通)	
	公園課	電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 4 3 (直通)	
開催日時	令和 4 年 3 月 2 7 日 (日) 午前 9 時 3 0 分～午前 1 1 時 1 5 分		
開催場所	相模原市立産業会館 3 階 大研修室		
出席者	市民検討会 委員	2 1 人 (1 0 ページのとおり)	
	有識者協 議会委員	6 人 (1 0 ページのとおり)	
	その他	0 人 (各施設担当者)	
	事務局	9 人 (都市計画課長、生涯学習課長、公園課長他 6 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会議次第	<開会あいさつ> 1 これまでの検討経過の振り返り 2 令和 4 年度の進め方		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（◎は市民検討会委員の発言、○は有識者協議会委員の発言、●は事務局の発言）

## 1 経 過

公園課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会野口会長進行のもと、傍聴の確認を行い、市民検討会委員及び有識者協議会委員による自己紹介、事務局から資料説明、質疑応答を行った。

～傍聴希望者について～

## 【質疑応答】

- ：傍聴について、どなたかご意見はありますか。
- ◎：今回初めて参加させていただく。傍聴者に対して発言権を認めることはできないのか。
- ：あくまでも「傍聴」であるので、発言権はないものと承知している。
- ◎：傍聴者も何らかの意見をお持ちなのではないか。傍聴に関する規則に抵触しないような形で、例えば会議の最後の方で少しお話いただくことはできないのか。委員の気が付かないような視点での意見など、委員にとっても参考となるのではないか。
- ：会議が終わった後などで事務局がお話を伺うことなど是可以するのではないか。
- ◎：その場合、委員へ内容は伝えていただけるのか。
- ：伝えて欲しいという方がいれば、内容に応じて検討させていただきたい。
- ◎：去年1年間傍聴をした。今の意見はすごく貴重だと思う。会議終了後に有識者、事務局の人に話しに行ったこともあるが、その時の私の視点が委員に伝えられたことはなかった。
- ：繰り返しになるが、会議の中において傍聴者から発言をいただくことは、「傍聴」という性質上難しいと考えている。
- ：色々のご意見をいただいた。会議終了後などにお話を聴く機会があれば良いと思う。

## 2 議事

### (1) これまでの検討経過の振り返り

資料に基づき、市民検討会の位置付けやこれまでの検討状況について、事務局から説明を行った。

#### 【質疑応答】

◎：第15回市民検討会の会議録で「今回までの市民検討会における検討結果を庁内で確認した結果については、次期市民検討会において、改めて説明をさせていただき予定である」と記載されている。庁内で確認が済んでいるのであれば、その結果を教えて欲しい。

●：現段階では、正式に庁内の会議を開催して確認するような段階まで検討内容が固まっていないことから、担当者レベルで関係する部署に市民検討会の検討状況を報告し、どのような課題が想定されるかといった情報交換を行っている。

◎：「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う」とのことだが、公園と図書館敷地の間の道路はどのような取扱いとなるのか。2つの敷地を一体化して再整備するのか、間の道路は残したまま再整備を行うのか。

●：現段階では「一体的に利用」とのことなので、鹿沼公園と図書館敷地の間の道路は残したまま検討を進めていくことを想定している。道路の取扱いについて、まだそこまで具体的な検討がなされていないと認識している。一般的には道路の廃止はかなりハードルが高いものであるため、現段階では難しいと考えている。

◎：「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う」という方向性について、庁内から大きな異論は出ていないということか。

●：行財政構造改革プランの考え方を踏まえたものであり、今のところ大きな異論は出ていない。

◎：庁内で情報交換はしているが、確認は取っていないということではなかったか。

●：正式な会議としての確認はしていない、ということである。

### (2) 令和4年度の進め方について

資料に基づき、今期市民検討会の役割や今後のスケジュール案、先行事例について、事務局から説明を行った。

◎：資料P8にまちづくりWGのテーマとして「コンセプトを考える」とあるが、淵野辺駅周辺とは、北口も含むのか。

●：特にどこまでと限定しているものではない。南北の連携などこれまでの検討でも課題として意見が出ていた。そういったものも含めて検討していただいて構わないと考えている。

- ◎：4月の段階では「淵野辺駅周辺」で、6月の段階では「南口と北口の連携」と別の表現になっているが、全部一緒でよいということか。
- ：どこまでの範囲を考えたらいとお考えなのか、伺いたい。
- ◎：4月の段階では南口のことを考えて、そこでもし北口の問題が出てきたら保留とし、6月になってから、北口と南口の連携の部分を検討したら良いと考えている。
- ：その理由は。
- ◎：（私にとっては）南口が（とても）大事だからです。
- ：個人的には、線引きをするというのは、怖いと感じている。
- ◎：前回までの市民検討会において、「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用し、再整備を行う」という方向性はまとまったが、「一体化」ということについても、様々な考え方があると思われる。その部分の検討はいつ行うのか。おそらく次回の「コンセプトを考える」ではないかと考えているが、コンセプトを考えることも非常に重要であり、コンセプト、複合施設を設置する場所の検討なども含めると、検討の時間が足りるのか心配である。
- ：鹿沼公園の中に複合施設を設置するとなると、その具体的な場所の検討を含め、時間は必要だと考えられる。そのため、設置場所や公園リニューアルの内容については、公園WGの5月～7月あたりで検討していただくことを想定している。その前段で、複合施設を図書館敷地側に設置するのか、公園側に設置するのかについては、4月の段階で検討ができればよいと考えている。検討に時間がかかることもあるが、事務局としては、市民検討会における議論を支援していき、もし正式な検討会としての回数が足りない場合には、必要なWGだけ追加でお集まりいただくなど、進め方については工夫していきたい。
- ◎：「機能を考える」、「機能の組合せを考える」といった内容は、これまでも検討してきたものもある。第18回～第20回の3回に渡り検討するのではなく、2回程度にとどめておき、第20回～第22回は全体会でオープンハウスの資料等を検討してはどうか。また、基本計画案については、骨子案の確認をした後、市民検討会からの意見の反映状況などを確認する機会を設けていただけるとありがたい。
- ：これまでパターンの検討だけでなく、施設や公園に関する様々なアイデアをいただいていた。そういった経過を踏まえると、5月～7月の機能に関する検討期間を短くすることができるかも知れないが、実際にやってみないと分からないこともあるため、現時点では資料に記載の通り始めてみてはどうかと考えている。基本計画案については、10月の段階でどこまで具体的にお示しできるかは分からないが、可能な限りお示しできるように調整していきたい。
- ◎：なるべく全体で考える時間もとっていただけるとありがたい。資料の3ペー

ジに、市民検討会の役割として「想いをまとめる」と記載されている。個人的には、前回までに想いはまとめたつもりでいて、基本計画や要求水準書くらいのレベルまでやるのかなと思っていた。できるだけしっかりと議論した内容を市民検討会としてまとめていきたい。

◎：「想いをまとめる」についてだが、平成30年12月の市議会で、南口のグランドビジョンがないままに基本計画案が出てきたことが課題として指摘された。今回まとめることとなった「想い」が、南口のグランドビジョンなのだと理解しているが、まだまとまったと言える状況ではない。「淵野辺駅南口を閑静な住宅街にするのか、賑やかなまちにするのかをはっきりとさせないと進まないのではないか」という意見も出されていた。ある有識者が、「ここには価値観の対立がある」と言われたときに、自分の中でモヤモヤしていたものがはっきりとした。どういうまちにしたいのか、どういうグランドデザインにしたいのか、（私たちは）まだ一致していない。価値観の対立があると言われたことに納得した。お互い譲り合って、次世代のためにより良い価値観、このまちがどうなったらよいかという一致点を見つける活動になればよいと考えている。もう想いはまとまったと言われると、少し違うのではないかと感じている。

●：ご質問と言うよりは、ご意見として承った。前回までに「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用して、再整備を行う」というところまではまとまったが、引き続き、次回以降の市民検討会において、具体的な検討を進めていければと思う。

◎：基本計画案については、これからまとめるのか。どのくらいのボリューム感を想定しているのか伺いたい。

●：平成29年度に公表した基本計画案のボリューム感（65ページ）を参考にしていきたい。

◎：市民検討会での検討結果をもとに、どのくらいの分量を目指すのか。

●：分量の目標がある訳ではなく、市民検討会で検討した内容を踏まえて修正していきたい。

◎：細かい機能など、WGでどこまで検討すればよいのか。

●：WGにおける検討のレベル感としては、資料2の4ページに記載している「市民ワークショップ」の欄を参考にしていきたい。

◎：毎回WGで検討していく中で、委員のアイデアに対して、市側の考え方、実現が難しそうなどあれば、その都度意見交換を行いながら進めていきたい。有識者協議会委員は、今後どのように関わるのか。WGの中でも有識者からも情報をいただきながら検討をしたい。

◎先日、大野北地区のまちづくり会議でも市民検討会の検討状況が報告され、意見交換が行われた。その中で、地域の方からは、いつまでも市民の意見を聴い

ていては、まとまらないのではないかと、といった意見があった。事務局としてはどのように受け止めたのか伺いたい。

- ：今後の進め方については、資料P5に記載している通り、可能な限り議論の進捗に応じて、情報共有をしながら進めていきたい。有識者協議会委員の関わり方については、パターンの絞り込みに関する議論の中では、有識者を交えたグループワークなどができないところがあったが、令和4年度については、WGごとに具体的な検討を行うことから、その中に有識者協議会委員や市職員も加わり、一緒に検討を進めていきたいと考えている。なるべく多くの有識者協議会委員に出席いただけるよう、日程調整をさせていただきたい。
- ：3月22日に開催された大野北地区まちづくり会議において、市民検討会における検討状況を報告させていただいた。市民検討会として一定のまとめができた点については、評価・理解されたものと感じている。また、今後の進め方について、ご提案をいただいた。例えば、検討の内容が拡がり過ぎないようにある程度市がたたき台を示すことや、実現可能性を踏まえた検討をすべきといったご意見をいただいた。その他、鹿沼公園については、白鳥池や児童交通公園の課題に関する意見をいただいた。言葉として色々厳しい意見もいただいたが、まちづくり会議の方々も、市民検討会の委員の皆さんも、基本的には同じような想いを持っていると、改めて感じた。行財政構造改革プランに記載されている通り「市民検討会の検討結果を踏まえた取組を実施する」という考え方は全く変わっておらず、事務局としては、市民検討会の検討をしっかりと進めていきたいと考えている。市民検討会の検討状況については、節目を捉えて、引き続きまちづくり会議にも報告させていただきたい。
- ◎：4月16日に予定されている視察は、ただ施設を見て回るだけなのか。質問等はできるのか。
- ：視察先の職員から説明をいただけるかどうかは分からない。本市職員が簡単にご案内できればと考えている。
- ◎：市民検討会が立ち上げられた経緯としては、まちづくり会議からの提言を基に市で公表した基本計画案に関するパブリックコメントで、かなり多くの意見が寄せられたことがきっかけとなっているところがある。市民検討会委員の中には、まちづくり会議のメンバーとなっている方もいる。どなたか、まちづくり会議の立場で意見を言ったり、まちづくり会議に持ち帰って検討する方がいると良いのではないかと。今まで以上にまちづくり会議との連携ができるとよい。
- ：市民検討会には、まちづくり会議に限らず、様々な関係する団体に推薦をお願いして委員となっただいただいている方がいる。また公募委員の方、大学生の方もいる。それぞれの立場で、活発な意見交換が行われるよう、会議の進め方等は工夫をさせていただきたいと考えている。

◎：今回から初めて参加する委員の方は、これまでの市民検討会資料の引き継ぎ等を行っているのか。

●：基本的には、今回の資料1がこれまでの検討経過をまとめた資料となっている。今後具体的な検討を進めていく上で、足りない部分があれば、その都度用意をさせていただきたい。

◎：今までの会議資料は、PDF形式等のデータでまとめているのか。

●：これまでの会議資料については、市ホームページで公開している。

【有識者協議会委員による講評】

・野口委員

市民検討会委員の皆さんと一緒にまとめていく必要がある。質問だけではあまり建設的な議論にはならないので、自分の意見をどんどん言って欲しい。その意見に対して、他の人が意見を重ねていけば、市民検討会全体として建設的な議論ができるのではないか。

・山口委員

今後、基本計画を取りまとめていく中で、こうでなければならないということを出しても、その通りに実現するとは限らないところがある。ポイントは、複合施設をどこに設置するのかという立地の問題と、どう複合化するのかということについては、基本計画の中で決めていかなければならないところ。複合化した施設の中にどういう機能を盛り込むのかについては、色々と意見が出てくると思われる。この機能は入れるべきだと合意できるところはきちんと整理して、それ以外の少数意見は補足意見のような形で整理をすることにより、実際に民間事業者に委ねる段階で、民間事業者がそこまで市民検討会で出された意見を汲み取って、提案できるような形で整理をしていく必要があるのではないか。今回から参加された委員の方も、必要な機能について、これまで出された意見も確認しながら、新たな意見があれば出していただきたい。建設的な議論をしていただきたい。

・押田委員

先ほど基本計画の話が出たが、市民検討会の中では、公共施設を設置しその配置を考えるということに焦点が当たりがちである。それも大事なことではあるが、公園については、設計の際に「5年後図面」「10年後図面」というものを作る。植える段階では細い小さな木であるため、魅力的な空間となるには、10年後など先になってしまう。明治神宮の森は、100年後をイメージして100年前に造られている。今後みなさんが使って行って、運営するというこ

とまで含めて念頭に置いて欲しい。大和市のシリウスに行かれるとのことだが、整備の問題点、運営の問題点だけでなく、実際に使ってみてどうか、どのような課題があるのかについても話が聞けると参考になるのではないか。

・小島委員

どのくらいのスケール感で考えていくのが重要であると感じた。南口周辺など一定の地域について、鹿沼公園と図書館敷地を一体的に考えていく中で、その空間がより暮らしやすくなるというスケールで考えていくのか。また、何年後か先も含めてより良い公園になるようにと、時間のスケールも考えていかなければならない。すでに議論されていることもたくさんあり、「鹿沼公園と図書館敷地を一体的に」というところは決まっている。その中でどういった機能を盛り込んでいくのか、アイデアをどんどん土俵に上げていくことが大事ではないか。

・伊藤委員

ハード面で何ができるかという議論も大事だが、誰がどう運営していくのかといったソフト面も重要ではないか。民間事業者に委ねる、行政が直営で運営する、ボランティアが運営に参画するなど、様々な手法が考えられる。例えばボランティアが常に参加しながら運営していくとなると、そのボランティアの方のためのスペースが必要になるなど、ハード面への影響も出てくるのではないか。

・大谷委員

市民検討会で議論している内容には、変数がたくさんあり、何をどこまで議論するのか、複雑になっている。例えば図書館を開放的な空間にするとなった時に、吹き抜けが良いかどうか、技術的なアドバイスはすることができる。エントランス部分を吹き抜けにすると、小さい子どもを連れた利用者に対して、他の利用者からクレームが寄せられることが多い。市民検討会としてこうして欲しいという想いに対して、想定される課題やその解決策など、技術的なアドバイスなどサポートをさせていただきたい。

・野口委員

性能発注の考え方とも関連するが、例えば「開放的な空間とするため吹き抜けを〇〇㎡設けること」とすると、それにしかならない。一方、「開放的に本を読むことができるエリアを設けてほしい」とすると、吹き抜け以外にも、「屋外に直接出て行けるような場所を作る」といった提案が出てくるようになる。



これまでの常識にとらわれて詳細な部分まで決めてしまうと、民間事業者からはそれ以上のアイデアは出てこない。建設当時の価値観は、時間の経過とともに、過去のものとなる。民間事業者の選定をする方、設計をする方、施設を運営する方が、将来の使い方について色々と想像をはたらかせることができるようなところまで持って行けると良い。極端な例ではあるが、将来、図書館の本が全て電子書籍になると、ハコモノとしての図書館は不要になる。そうではなく、どんなプログラムが入ったとしても、含みを持たせてデザインをすれば、カフェや小学校など他の機能としての利用もできる。50年後、100年後も残り続けて欲しいと思う環境を目指して欲しい。

### 3 その他

事務局より、第17回市民検討会を、4月24日（日）午前中に開催を予定していることを伝えた。

以上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
櫻内 康裕	出席
白石 一郎	出席
鳥海 宗紀	欠席
濱野 麻利子	出席
森光 雄一郎	出席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
太田 裕	出席
小方 明	欠席
小野澤 行雄	出席
上遠野 イク子	出席
金 愛蓮	出席
佐伯 明美	欠席
佐藤 正光	出席
高柳 眞木子	出席
古谷 明李	出席
森田 朱音	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
今井 寿	出席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
島津 陽子	欠席
城田 大介	出席
田崎 一宏	出席
山口 清孝	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
伊藤 眞木子	出席
大谷 康晴	出席
押田 佳子	出席
小島 仁志	出席
杉崎 和久	欠席
野口 直人	出席
山口 直也	出席